

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 24 年 2 月 9 日 (2012.2.9)

【公表番号】特表 2010-520103 (P2010-520103A)

【公表日】平成 22 年 6 月 10 日 (2010.6.10)

【年通号数】公開・登録公報 2010-023

【出願番号】特願 2009-551747 (P2009-551747)

【国際特許分類】

B 6 3 H 19/02 (2006.01)

B 6 3 B 21/66 (2006.01)

B 6 3 B 22/00 (2006.01)

B 6 3 C 11/00 (2006.01)

【F I】

B 6 3 H 19/02

B 6 3 B 21/66

B 6 3 B 22/00 C

B 6 3 C 11/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 2 月 28 日 (2011.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ケーブルにおいて、

(a) 断面が、

(i) コード長が 0.5 乃至 3.0 インチであり、

(ii) リーディングエッジ部分とトレーリングエッジ部分を具え、当該リーディングエッジ部分が前記断面の最大幅を有し、当該最大幅が、0.1 乃至 1.0 インチであり、最大で前記断面のコード長の 0.5 倍であり、

(b)

(1) 前記ケーブルに張力が係っているときに負荷を担持する細長引張部材と、

(2) 前記ケーブルに張力が係っているときに、負荷を担持しない少なくとも一の追加の細長部材と、

(3) 前記ケーブルの外側表面を提供するジャケットと、
を具えることを特徴とするケーブル。

【請求項 2】

(1) フロート、

(2) スイマー、及び

(3) 前記フロートと前記スイマーを連結するテザー

を具える水車輻 (WPV) において、

前記フロートとスイマーとテザーは、前記車輻が静水中にあるときは、

(i) 前記フロートは水の表面あるいは表面近傍にあり、

(ii) 前記スイマーは前記フロートの下に沈んでおり、

(iii) 前記テザーには張力がかけており、

前記スイマーは、前記車輻が波ベアリング水中にある時に、水と相互に作用して、フロ

ートを水平成分を有する方向に移動させようとする力を生成し、

前記テザーが請求項 1 に記載のケーブルを具え、当該ケーブルがそのリーディングエッジ部分が前記 W P V の前側を向くように整列されていることを特徴とする W P V。

【請求項 3】

前記ケーブルが前記テザーを前記フロート及び / 又は前記スイマーに対して回転可能とするスィベルジョイントによって前記フロート及び前記スイマーの少なくとも一方に取り付けられていることを特徴とする請求項 2 に記載の W P V。

【請求項 4】

(A) 前記テザーが 2 軸ユニバーサルジョイントを介してフロートに固定されており、当該ジョイントが、(i) 前記フロートが縦横に揺れるときは回転するが、(i i) 偏揺するときは回転せず、及び / 又は、(B) 前記テザーが 2 軸ユニバーサルジョイントを介してスイマーに固定されており、当該ジョイントが、(i) 前記スイマーが縦横に揺れるときは回転するが、(i i) 前記フロートが偏揺するときは回転しない、ことを特徴とする請求項 2 に記載の W P V。

【請求項 5】

前記フロートが、

(1) 本体と、

(2) 当該本体に固定され、当該本体の上方に延在する上側部材と、

(3) (a) 前記上側部材の前記本体に対する配位と、(b) 前記上側部材の構造の少なくとも一方を制御する手段であって、前記フロートが波ベアリング水中に浮かんでいるときに、前記上側部材の静止配位からの動きを低減する手段とを具えることを特徴とする請求項 2 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の W P V。